

Media Information

2026 年 8 月 9 日

TEAM GOH のチャーリー・ブルツ選手、第 8 戦は 18 位

シーズン最高番手をマークした予選結果をグリップ不足で決勝に活かすきれず

TEAM GOH（チームゴウ、代表：池田和広、監督：芳賀美里）の 53 号車をドライブするチャーリー・ブルツ選手は、8 月 8 日-9 日に宮城県のスポーツランド SUGO で開催された全日本スーパーフォーミュラ選手権第 8 戦東北大会に出場し、18 位でレースを終えました。

8 日(土)に行われた予選では、Q1 突破は叶わないながらも自身最高位の 13 番手につけたブルツ選手でしたが、9 日(日)午後の決勝ではスタートからグリップ不足に苦しみ、序盤でポジションを落とす展開に。ピット戦略はセーフティカーが入るタイミングとかさなり運が向いてきたと思えたものの、タイヤ交換の後もペースはあがらず、ポジションを回復させるには至りませんでした。



Rd.	サーキット	周回数	天気	気温	路温	予選	決勝
8	SUGO	51	曇り	26	35	13	18

※天気、気温、および路温は決勝スタート時



◆ドライバー チャーリー・ブルツ選手 のコメント

「予選に向けては自分たちのプランを明確に持って臨み、1回目のアタックでは今季ここまでで一番いい感触を得ることができました。クルマのポテンシャルは確かに感じられただけに、2回目のランでタイヤをうまく作動させられず、Q2進出につなげられなかったことは悔しいです。ただ、方向性としては手応えがありましたし、クルマの競争力は見えてきていました。」

「決勝は、スタート自体は悪くありませんでしたが、序盤から全体的にグリップ不足に苦しみ、厳しいレースになりました。周囲のクルマと比べてタイヤのフィーリングが乏しく、レースを通して思うようにペースを上げることができませんでした。戦略面ではチャンスもありましたが、それを結果につなげるだけのグリップが足りなかったという印象です。難しい一戦になりましたが、今回見えた課題を整理して、次戦に向けて改善していきたいと思います。」

◆チーフエンジニア 柏木良仁 のコメント

「予選に向けては、フリー走行で見た課題に対して大きく方向を変えることなく、正常進化の範囲でアジャストして臨みました。菅生は赤旗のリスクも高いため、2回アタックできる前提で組み立てましたが、2セット目のニュータイヤで十分にウォームアップを進められず、結果としてQ2進出には届きませんでした。車両全体の方向性としては悪くなく、タイヤをうまくレンジに入れられれば、もう一段タイムを伸ばせる感触はありました。」

「決勝はスタート直後からタイヤのウォームアップに苦しみ、序盤のポジションダウンが厳しい展開になりました。戦略としては雨を予想していたこともあり、セーフティカーのタイミングを見据えて引っ張り、ピットインタイミングの判断自体は悪くなかったと思いますが、その後の展開も含めて結果には結びつき

ませんでした。レースペースそのものにも課題があり、ポイント獲得は簡単ではない状況でしたが、今回見えたタイヤの使い方やレース運びの課題を整理し、次戦に向けて改善していきたいと考えています。」

以上

